

鹿瀬イワさんが百歳を迎える

11月10日、特別養護老人ホーム「平寿園」に入所されている鹿瀬イワさんが百歳の誕生日を迎え、お祝いに椎葉晃充村長が訪問しました。イワさんは、明治38年11月10日生まれ。明治、大正、昭和、平成と1世紀を生きてこられたことになります。

平寿園での生活では、入所以来、入院することもなく安定した体調で日中は散歩をされるなど、表情豊かに過ごされているとのこと。村長のお祝いの言葉にも笑顔で応えていました。これからも元気に長生きしてください。



▲百歳の誕生日を迎えた鹿瀬イワさん。

松尾中女子駅伝チームが活躍

11月20日、西都市で県女子中学駅伝大会（5区間12km）が行われ、県内の中学校18チームが出場しました。本村からは、予選となる三地区駅伝大会を全員区間で4連覇した松尾中女子駅伝チームが出場。各地域を勝ち抜いてきた強豪が出そろう中、予選タイムを1分以上縮める45分8秒の第7位と健闘しました。

メンバー5人のうち、1年生が2人、2年生が1人含まれていて、来年は3位入賞をめざしたいとのこと。また、中学校生活が最後となる3年生にとっては、災害を乗り越えて得たこの大会出場が素晴らしい思い出となることでしょう。



▲米田透監督(左)と松尾中女子駅伝チームの皆さん。

第8回楽しく村収穫祭

11月23日、福祉作業所「楽しく村」（日高千寿子所長 所員11人）で、第8回を迎える収穫祭が行われました。所員やその家族、地域からも多くの方々が訪れ、作業所で収穫されたソバや小豆、大豆などを使った料理を味わいました。

また、「ブルースファイルNO.1」の皆さんにボランティアライブやビンゴゲームなど多彩な催しも行われ、訪れた方は秋の味覚を堪能しながら楽しい1日を過ごしました。



▲ライブで一緒に歌と演奏を楽しむ所員の皆さん。

尾向小「焼畑収穫祭」

11月24日、尾向小（児玉和盛校長 児童29人）で焼畑収穫祭が行われました。これは、同地区で継承されている伝統農法焼畑の知識と貴重な文化を学ぼうと毎年行われているものです。体験学習として今年8月5日に火入れをし、種を蒔いたソバを10月31日に収穫しました。

同日、保護者や地域の方々の指導のもと、向山児童館の子どもたちと共に石臼でソバ粉を挽くところからソバ打ちまで体験。収穫の感想を発表会で披露したり、焼畑に関する講話を聴いたりした後、参加者全員で試食を行い、収穫する喜びを味わいました。



▲地域の方々の指導でソバ打ちを体験した子どもたち。